

平成 20 年度

総務局予算要求方針

- 目 次 -

1	平成 20 年度総務局予算要求総括表	1
2	20 年度予算要求にあたっての基本的考え方	2
3	予算要求の重点事項	3
	(1) 子どもを生き育てやすく、健やかにはぐくむ街	
	(2) 主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街	
	(3) 安全・安心で、人と環境にやさしい街	
	(4) 文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街	
	(5) その他の重点事業等	
4	事務事業の見直し等	7

1 平成 20 年度総務局予算要求総括表

【一般会計】

(単位：百万円)

区 分	平成 19 年度 予 算 額 A	平成 20 年度 要 求 額 B	増 減 額 B - A	増減率 (B - A) / A
市 政 推 進 部	23 (23)	22 (22)	1 (1)	3.8% (3.8%)
行 政 部	1,978 (1,763)	1,702 (1,618)	275 (146)	13.9% (8.3%)
秘 書 部	76 (76)	61 (61)	15 (15)	19.5% (19.1%)
広 報 部	836 (761)	842 (765)	6 (4)	0.7% (0.5%)
国 際 部	516 (458)	504 (446)	12 (11)	2.3% (2.5%)
職 員 部	104,987 (104,316)	104,860 (104,157)	127 (159)	0.1% (0.2%)
東 京 事 務 所	98 (96)	95 (93)	3 (3)	2.8% (2.8%)
オンブズマン事務局	49 (49)	40 (40)	9 (9)	18.5% (18.5%)
合 計	108,564 (107,541)	108,127 (107,203)	436 (339)	0.4% (0.3%)

1 ()内は一般財源額

2 この資料中の金額は、各計数ごとの四捨五入で表示しています。したがって、内訳と累計値とは一致しない場合があります。

3 職員部には一般会計職員の人件費を含みます。

2 20年度予算要求にあたっての基本的考え方

札幌市の財政状況は、長引く景気の低迷の影響などにより、依然厳しい状況にあります。また、一方では、社会構造の変化や多様化する市民の価値観などに対応するため、行政需要はますます拡大しています。

そこで総務局では、本年度実施した行政評価の結果や行財政改革プランの内容を踏まえ、市民の視点で、より効率的な市政運営を行っていくことを念頭におき、以下の役割を十分に果たすための予算を要求することとします。

1 市長・副市長などのリーダーシップの発揮を補佐する

市全体のマネジメント体制を充実・強化することによって、成果志向にたった、より効率的な市民本位の市政運営を行っていくため、経営層のリーダーシップの発揮を補佐する。

2 広聴・広報や情報公開、シティPRなど、市民及び国内外への情報発信を行う

市民主体のまちづくりを進めるため、市政に関する情報をよりわかりやすく提供するとともに、市民意見の政策反映を推進する。

札幌市を代表して、国内外にわたる応対、連携、PRを行う。

3 人事、研修、組織、事務管理の総括など、内部管理的な業務を行う

厳しい財政状況に対応すること、また、安定した市民サービスを提供するため、今まで以上に内部効率化に取り組んでいくとともに、市民が主役のまちづくりを実現するための環境づくりを行う。

3 予算要求の重点事項

(1) 子どもを生き育てやすく、健やかにはぐくむ街

子どもたちが国際交流体験などを通して、未来に夢を持ち、個性や能力を発揮し、心身ともに健やかに育つ環境づくりを推進する。

1 未来を担う子どもが健やかに育つ環境の充実

1 百万円 (0)

注 : () 内は 19 年度予算額

ア アジア学生交流事業(国際部)

1 百万円【新規】

国が実施する「21世紀東アジア青少年大交流計画」に合わせて、本市の独自事業として、札幌に訪れるアジアの学生たちと、市民レベルの交流を進め、国際理解を深めるための市民交流事業を行う。

【達成目標】

市民交流事業等参加者数 H18 : 0 人 H22 : 5 0 0 人

【20年度効果】

+2 0 0 人 (H19 : 0 人 H20 : 2 0 0 人)

(2) 主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街

IT やコンテンツ、バイオなど新産業の育成・拡大を目指し、首都圏で企業間マッチングや商談を進め、市内企業の販路拡大を支援する。

1 札幌らしい新産業の育成と企業の誘致

1 1 百万円 (1 0 百万円)

注 : () 内は 19 年度予算額

ア 首都圏ビジネスチャンス拡大支援事業（東京事務所） 11百万円

東京事務所を市内企業のビジネス拠点として開放するとともに、首都圏事業とのネットワークの構築を進めながら、マッチング等販路拡大を支援する。

【達成目標】

支援事業への首都圏参加企業数 H18：94社 H22：200社

【20年度効果】

+20社（H19：100社 H20：120社）

【達成目標】

ビジネスラウンジ利用者数 H18：323人 H22：500人

【20年度効果】

+40人（H19：360人 H20：400人）

(3) 安全・安心で、人と環境にやさしい街

地球温暖化などの地球環境問題について、世界の冬の都市が集まり、学びあい、先進的な取り組みなどを世界に発信し、アピールする。

1 地球環境問題への対応と循環型社会の構築

6百万円（16百万円）

注：（ ）内は19年度予算額

ア 世界の冬の都市市長会関連事業（国際部） 6百万円

「快適な冬のまちづくり」を目指した世界冬の都市市長会の実務者会議をカナダ・プリンスジョージ市で開催し、第14回市長会議（2010年同市開催予定）の開催計画を協議するとともに、冬の都市環境問題小委員会で地球環境問題について協議する。

(4) 文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街

札幌の歴史を後世に伝える資料を保存・活用し、歴史や文化を享受できる環境を整備するとともに、新たな都市の魅力づくりを進め、それらの魅力を国内外へ発信することにより、観光やコンベンションの一層の振興を図る。

1 札幌の特色を活かした文化芸術の振興

2 百万円 (0)

注 : () 内は 19 年度予算額

ア 公文書館整備基本構想策定事業 (行政部) 2 百万円【新規】

重要な価値を有する公文書などを収集・保存し市民の利用に供する公文書館の整備基本構想策定に着手します。

2 新たな集客交流資源の創出と魅力の発信

8 5 百万円 (3 4 百万円)

注 : () 内は 19 年度予算額

ア 「ミュンヘン・クリスマス市 inSapporo」開催費負担 (国際部)
1 0 百万円

大通公園を会場にドイツのクリスマスグッズや飲食物などを市民及び観光客に提供し、ミュンヘンの文化紹介を実現する「ミュンヘン・クリスマス市 inSapporo」実行委員会に対し、負担金を交付する。

【達成目標】

来場者数 H18 : 4 4 . 6 万人 H22 : 5 0 万人

【20 年度効果】

+ 1 . 3 万人 (H19 : 4 6 万人 H20 : 4 7 . 3 万人)

イ アジア学生交流事業(国際部)

1百万円【再掲】

国が実施する「21世紀東アジア青少年大交流計画」にあわせて、本市の独自事業として、札幌を訪れるアジアの学生たちと、市民レベルの交流を進め、国際理解を深めるための市民交流事業を行う。

【達成目標】

市民交流事業等参加者数 H18：0人 H22：500人

【20年度効果】

+200人(H19：0人 H20：200人)

ウ 首都圏シティPR事業(東京事務所)

22百万円

札幌への観光客及び教育旅行などの誘致促進を図るため、首都圏において、公共交通機関や各種情報誌などのメディアを活用した広告掲出やイベントの開催などシティPRを行う。

【達成目標】

集客イベントの集客人数 H18：7.1万人 H22：7.5万人

【20年度効果】

+0.1万人(H19：7.2万人 H20：7.3万人)

エ 北海道洞爺湖サミット開催関連事業

159百万円【新規】

(うち総務局国際部要求分 52百万円)

北海道洞爺湖サミット開催に合わせて、札幌市のPRを積極的に行うほか、道民会議等を通じた開催支援やサミット関連プログラムの運営支援を行う。

また、市民のサミット受け入れ機運を盛り上げるとともに、国際理解を深めるための各種セミナーなども開催する。

4 事務事業の見直し等

内部効率

一般事務費の節約や、効率的な執務による時間外勤務手当等の抑制

<見直し額101百万円>

所管施設の維持管理業務の見直しによる経費節減

<見直し額51百万円>

市長公館の閉館など

<見直し額14百万円>

サービス水準など

本庁舎駐車場の土・日・祝日の無料開放の廃止 <見直し額 6百万円>

駐車場の土・日・祝日の無料開放を廃止し、イベントスペースとして

活用

天神山国際ハウスの運営休止

<見直し額46百万円>